

SASE (Secure Access Service Edge)とゼロトラストセキュリティ

2022.2.10

SASEとは、米 Gartner 社が 2019 年 8 月に「The Future of Network Security Is in the Cloud」レポート内で提唱した最新のフレームワークです。「セキュリティ及びリスク管理におけるシフトに対応するためには、クラウドの集中型 Secure Access Service Edge (SASE) が必要」になっています。Gartner 社の SASE モデルは安全で迅速なクラウドの採用を可能にする包括的フレームワークです。Gartner 社は、「明確な SASE 採用戦略 を持つ企業は 2018 年末の時点は 1%以下ですが、2024 年までに少なくとも 40%まで増加するでしょう」と述べています。

クラウドセキュリティフレームワークとしてゼロトラストを実現するゼロトラストフレームワークがあります。認証なしには全てを信用しない（ゼロトラスト）という概念で「適切な認証を受けた端末とそのユーザーだけが、許可されたデータやアプリケーションにアクセスできる」とするクラウド時代の新しいセキュリティフレームワークです。クラウド上のアプリケーションやデータに、安全にアクセスするためのセキュリティ確保を目的としています。

ゼロトラストネットワークからさらに SASE のような仕組みが必要になった背景には、クラウドサービスの普及及び利用の拡大により中小企業によるクラウドサービスの利用が増えたことや、主要システムのオンプレミス環境からクラウド環境及び DX 環境移行への急速な展開があります。また新型コロナウイルス感染拡大によるリモートワークの導入やネットワーク利用環境の多様化によるネットワークセキュリティ運用負荷の増加があります。

自社の情報資産を守るためには、クラウド以前のように企業内だけを前提とした境界型セキュリティの仕組みでは不十分で複数製品を組み合わせたクラウドセキュリティ対策が必要になります。効率的なセキュリティ運用やコスト削減がさらに必要となり既存の企業ネットワークとゼロトラストセキュリティフレームワークを SASE で一元管理へと変換することが求められています。

ゼロトラストが企業のセキュリティと情報資産の安全確保のあり方を示す概念であるのに対して、SASE は一元化されたクラウドセキュリティ管理の実現、業務効率や管理コストの向上を目標にしています。SASE はネットワーク部分でのセキュリティ機能を示す包括セキュリティサービス（製品）です。これが SASE とゼロトラストの違いです。

<参照先リンク>

Palo Alto Networks SASE Converge '21

<https://www.saseconverge.paloaltonetworks.com/panwsaseindex>

SASEとは Secure Access Service Edge | McAfee

<https://www.mcafee.com/enterprise/ja-jp/security-awareness/cloud/what-is-sase.html>